

提出日	令和3年3月15日	記入者	清水愛子
団体名	ふりがな： いっぱんしゃだんほうじん ぐっどねいばーずかんぱにー 一般社団法人グッドネイバースカンパニー <input type="checkbox"/> 任意団体 <input type="checkbox"/> NPO 法人 <input checked="" type="checkbox"/> 一般社団法人 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> その他()		
協働団体	①文京区歯科医師会、小石川歯科医師会 ②フレイルサポーター ③保健サービスセンター(区所属の歯科衛生士) ④文京区高齢福祉課 ⑤文京浴場組合 ⑥弊社アドバイザー医療職 ⑦文京区社会福祉協議会		
自団体 および 協働団体 の 役割分担	①区内のオーラルフレイル予防の取り組み・本プロジェクトの活動に対する後援 ②「まいにち、くちビル」の試作検討協力・地域への配布展開や活用の場の提供 ③④勉強会への参加、現段階での区内のオーラルフレイルに対する取り組みについて意見交換 ⑤区民との接点づくりのための場所提供、イベント協働開催 ⑥「まいにち、くちビル」制作に対しての指導、勉強会開催時の講師担当 ⑦区内のステークホルダーとの調整、区内の広報先・媒体との連携調整など		
担当者名	清水愛子、児島満理奈	役職等	代表理事、事務局
事業名	くちビルディングで「食べると笑うを支える仲間の輪」を拡げようプロジェクト		
部門 (1か2 いずれか ○)	1. 課題解決部門(該当の場合、いずれかの番号に○) (1) 高齢者の特殊詐欺被害を予防するための活動 (2) 地域コミュニティの価値を見直し、新たなつながりが広がる活動 (3) 男性高齢者の継続的な参加につながる社会参加を促すための活動 (4) 介護の魅力を広く啓発し、様々な担い手と事業所のマッチングを図るための活動 (5) 中学校卒業後の不登校等の孤立状態に対応できるボランティアを育成するための活動 (6) 外国にルーツがある児童・生徒についての生活や学習支援活動 (7) その他、団体の専門性を生かしたテーマで提案された取り組み <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2. 地域活性化部門</div>		

<p>提案背景 目的 地域のどんな課題を解決したいかを明記</p>	<p>昨今、加齢に伴う食べる機能の衰えが高齢者の要支援・要介護につながる大きな要因であることが叫ばれている。2018年、厚生労働省が全国の高齢者を対象にしたフレイル対策を本格的始動したことで、全国都道府県の8割以上が後期高齢者に対する「口腔機能低下」に関する問診を行っており、口腔機能低下を認める高齢者や、これに伴う低栄養を認める高齢者に対して保健指導を開始している。文京区でも2019年度より高齢者を対象にフレイルチェック事業を開始し、その一つに食べる機能を評価するオーラルフレイル項目が追加された。区内ではすでに口腔機能向上や嚥下機能訓練に関わるプログラムが実施されているが、地域の多くの高齢者に届けるには更なる働きかけが重要だと考える。対策の一つとして、2019年8月、文京区内のサロンを対象に、主旨にご賛同いただいた音羽えびすの郷に会場をお借りし、仲間や自宅で楽しくオーラルフレイル予防や口腔機能向上の重要性を学ぶことができるグッドネイバースカンパニーの「くちビルディング選手権®」を試験的に実施。普段、地域サロンに通う高齢者や、歯科医師会理事などにも非常に好評だった。「くちビルディング選手権」は、集いの場で楽しく実施できるスポーツ形式のオーラルフレイル予防プログラムである。また、本プログラムは、東京医科歯科大学の戸原先生（歯科医師）のアドバイザー監修を受け、医学的根拠のもと、実施している。</p> <p>文京区内には、高齢者の集いの場が多数存在しており、自主的に運営されているものも多い。区内のフレイル予防策の一つとして、くちビルディング選手権が浸透することにより、住民や区内医療職の垣根を越えた地域保健事業が実現すると考えている。そこで、地域の医療職はじめ、元気な高齢者と関わる多様な人々と関係性構築を行うなかで、くちビルディング選手権をきっかけに連携をはかり、口腔機能や嚥下機能に関する知識や予防活動の大切さを啓発したい。</p>
<p>事業内容</p>	<p>①関係者への挨拶まわり</p> <p>文京区内のオーラルフレイル予防の取り組みの現状把握及び、キーパーソンとの関係性構築を目的に、関係各所への挨拶まわりを行った。文京歯科医師会・小石川歯科医師会には、会長への挨拶・ヒアリングのほか、理事会に参加させていただき、本プロジェクトの活動内容の紹介、今後に向けた展望をお伝えした。結果、12月4日に開催した勉強会に両歯科医師会会長及び、理事にご参加を頂いた。ここでは、現状のオーラルフレイル予防に対する各団体の認識を共有・確認すると同時に、今後の活動基盤や連携基盤を構築することができた。このほか、文京区関係課の担当者様、文京区役所所属の歯科衛生士様、東京大学飯島研究室の皆様、フレイルチェックを実施しているサポーターの皆様との関係構築ができ、横の連携の第一歩となった。</p> <p>②くちビルディング選手権の体験会開催</p> <p>変更後→「まいにち、くちビル」の制作と区民に向けた情報発信</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、実地での体験会開催が困難となったことから、事業内容を変更した。外出自粛中でも、自宅や施設内で、個人や少人数でも楽しくできる「くちビルディング選手権」として、日めくり型のオーラルフレイルプログラム集「まいにち、くちビル」を企画・立案し、クラウドファンディングによる資金調達の末、完成させた。制作プロセスでは、文京区内で高齢者を対象とした試作品の検討を行った。また、プログラムの一部を区内の高齢者に実施していただきフィードバックを頂く等して、完成版への示唆をいただいた。完成後には、区民への広報活動とし</p>

	<p>て、区民向けケーブルテレビ番組「1×1」で代表清水が「まいにち、くちビル」の取り組みを紹介したり、あらぶんちょ通信の記事に掲載いただいたり、様々なメディアを活用して広報を行った。また、紙面だけでは十分に伝わらない具体的な活用方法について、ハウツー動画の解説版を作成する等している。</p> <p>③オーラルフレイルを学ぶ勉強会の開催</p> <p>12月4日に協働団体が一堂に会して文京区内のオーラルフレイルの現状認識の共有、知識レベルの地ならし、今後の連携に向けた関係性構築などを目的に勉強会を開催した。東京医科歯科大学戸原教授にご講演いただき、オーラルフレイルや摂食嚥下障害に対する理解を深めることができた。また、ミニワークショップを行い、医療職・行政職・研究者や区内で活動するサポーターらが集まって、それぞれの課題や認識について共有できた。結果は好評であり、この会をきっかけに新しいプロジェクトや新しい連携が発生し、年1回～2回程度、同様の集まりがあるといいという声が聞かれた。</p> <p>④賛同してくださる方々との意見交換会の設定</p> <p>区の歯科衛生士、フレイルサポーターらとの意見交換を複数回行った。これにより、これまで文京区内でどのような取り組みが行われていたのかを把握した。次に、今後、「まいにち、くちビル」を活用していただける余白があるか、くちビルディング選手権の要素をオーラルフレイル予防の一環として活用するためのリソースについて共有いただいた。また、勉強会の一部でもミニワークショップのテーマとして、各団体や立場からの意見交換を行った。本プロジェクトの今後の活動の中で、人的リソース、知的リソース等を提供し合えるような関係性構築ができた。</p>
<p>協働団体 or 利用者 の声</p>	<p>関口 秀臣さん（風のやすみば 世話人・通称：チャーリー）</p> <p>私たちが活動する風のやすみばでも、おくちの体操は毎週おこなっていて、練習をつづけています。ゲームにすることでみんなが楽しく参加できるような仕掛けづくりは、健康を維持するためにとっても大切な取り組みだと思います。これからも、日々鍛錬を続けるとともに、活動を応援していきたいと思っています。</p> <p>大和田裕美さん（NPO 法人地域ネットワークとらいあんぐる代表 通称：モーリン）</p> <p>オーラルフレイルの取り組みは、私たちの活動でもチカラを入れている領域です。すでに、まいにちくちビルを取り入れた動きなどもプログラムのなかに盛り込んでおり、2021年度はオンラインで「まいにち、くちビル選手権」が実現できればと考えています。これを見込んで、今後も、オーラルフレイルを区内に広げていきたいと思っています。</p>
<p>協働による効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各協働団体もっているリソースを提供しあえる関係性基盤が構築できた ・オーラルフレイル予防の重要性や今後の可能性について共有認識をもてた ・コロナ禍という制約を受けたが、結果的には「まいにち、くちビル」を完成することができ、くちビルディングをより文京区内で活用・地域展開しやすい形態へと進化させることができた

<p>事業成果 および 今後の活 動予定</p>	<p>【事業成果】</p> <p>①文京区内でオーラルフレイル予防に関係する各団体の顔が見える関係性基盤の構築ができた。</p> <p>②「まいにち、くちビル」が完成し、文京区内での認知拡大の一步が踏み出せた</p> <p>③オーラルフレイル予防を目的に「まいにち、くちビル」を活用する複数のプロジェクト（勉強会、動画制作と配信、浴場組合とのコラボレーション）が立ち上がり、協働団体との協力・連携を強化していく基盤ができた。</p> <p>【今後の活動予定】</p> <p>①文京区内で楽しくオーラルフレイル予防を担う人材育成のため、いくつか協働団体とのプロジェクトを検討し、ともに企画・運営をしながら互いのノウハウやリソースのやり取りをしていきたい。</p> <p>②「まいにち、くちビル」を具体的に活用してもらえる現場を増やしていきたい。このためには、2020年度以上に、高齢者を対象とした発信や認知向上を図っていきたい。動画制作、浴場組合とのイベント、LINEなどを活用した情報発信等を行っていく。</p> <p>③2020年度に構築したヨコの連携をより強固にしていくため、勉強会や意見交換会は継続して行っていく。また、この中から出てきたアイデアは、勉強会参加者と共にプロジェクト化し、医療職と市民とが一緒になってフレイル予防に関わるようなアクションへと具体化していきたい。</p>
--------------------------------------	--

※別紙1：事業スケジュール [報告版]

※別紙2：収支決算報告

※別紙3：関係者マップ [報告版]（提案時の確定版と比較できる状態）

※追加別添1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

※追加別添2：この事業の様子が分かる公開可能な写真データ（10枚以内）

事業名	くちビルディングで「食べると笑うを支える仲間の輪」を拡げようプロジェクト
------------	--------------------------------------

月	実施内容					
	関係者への挨拶回り	「まいにち、くちビル」制作・展開	オーラルフレイル勉強会	オーラルフレイル予防動画制作	広報関連	打ち合わせ関連
令和2年4月		・緊急事態宣言の発令・サロン活動の休止などを受け、自粛中の高齢者を対象とした30日分のカレンダー作成を決定。				
5月	・小石川歯科医師会、文京区歯科医師会、各会長との面談調整	・パイロット版完成。7日分のパイロット版を文京区内で共有し、フィードバックをもとに完成版にむけた制作継続。				
6月	・小石川歯科医師会・文京区歯科医師会会長と面談	・クラウドファンディング実施し、目標金額達成。				
7月	小石川歯科医師会理事会にて、「まいにち、くちビル」をご紹介	・資金目標達成し「まいにち、くちビル完成」	各歯科医師会との連携、区内での活用と一緒に考えるために、オーラルフレイル勉強会実施に向けて検討を開始		・くちビルリーフレットを郵送配布	・完成した「まいにち、くちビル」をどのように区内で活用するか、今後の方針を相談。
8月	・区の歯科衛生士にヒアリング ・完成した「まいにち、くちビル」を小石川歯科医師会へ送付	・「まいにち、くちビル」PDF版の無料配布開始 ・フレイルサポーターによって印刷版を文京区内でも配布実施			・あらぶんちょ通信にて「まいにち、くちビル」を掲載	・区内での今後の「まいにち、くちビル」活用方針について方向性を固める
9月		小石川歯科医師会佐藤会長と今年度下半期の動きについて、意見交換を実施。				・文京区、歯科医師会、住民と連携してプロジェクトを進めていく上での課題を共有し今後のアクションプランを具体化
10月	・文京区歯科医師会会長・副会長への挨拶・勉強会についてご相談 ・社協から小石川歯科医師会佐藤会長へ勉強会についてご案内	・展開先としてオンラインメディアの検討・フレイルサポーターとの意見交換・LINEの有効性についてご紹介いただく	・勉強会の企画開始 ・戸原教授への講演打診	社協との打ち合わせにて、くちビルディング大会開催に代えて動画でフレイル予防を届ける企画が発足。制作チームのアサイン等、調整を開始する。		・ステークホルダーの巻き込みと勉強会企画について ・「まいにち、くちビル」動画制作について
11月	文京区役所にて区民部区民課、高齢福祉課等に挨拶まわりとオーラルフレイル勉強会の案内を行う		勉強会準備：企画書を作成、文京区社協との企画に関する調整、戸原教授との調整を実施	制作チームメンバーの調整。打ち合わせ実施。	・文京区民チャンネルの「1×1」でGNCの取り組みを取材いただき放映・Youtubeにもアップ	・12月4日の勉強会の調整と次年度に向けた今後の方向性を確認した
12月	・12/4イベントにて文京・小石川両歯科医師会、文京区、社協、フレイルサポーター、東京大学等の横のつながりを構築	・12/4勉強会の後半で区内のオーラルフレイル活動についてアイデア発想WSを実施	・12/4 東京医科歯科大学戸原教授をお招きしてオーラルフレイル勉強会を開催	「まいにち、くちビル」をわかりやすく届ける動画コンテンツの制作・展開について具体的な企画・検討開始		・イベントの準備 ・次年度にむけたお打合せ
令和3年1月				・プロジェクトチーム発足・企画会議	・東京大学 高齢社会総合研究機構飯島教授より、フレイル予防の動画コンテンツの一つとして「くちビルディング」をご紹介したいと打診を受ける	・来年度のアクションに関する議論、申請書類の内容等、次年度へ向けての準備
2月	・動画制作や次年度のプロジェクに対して歯科医師会や歯科衛生士の協力を個別に仰ぐ			・動画の展開先としてフレイルサポーター大和田さんと打合せ ・製作にむけて浴場組合さんの協力を仰ぎ2/28撮影	・文京区浴場組合と2021年度のイベント協働開催を企画 ・大黒湯でポスター制作実施	・報告書の作成
3月						

様式第8号 別紙2:収支決算報告

作成日 : 令和3年2月26日

「Bチャレ」提案公募型協働事業【令和2年度】

団体名:一般社団法人グッドネイバースカンパニー

収入 500,000 円

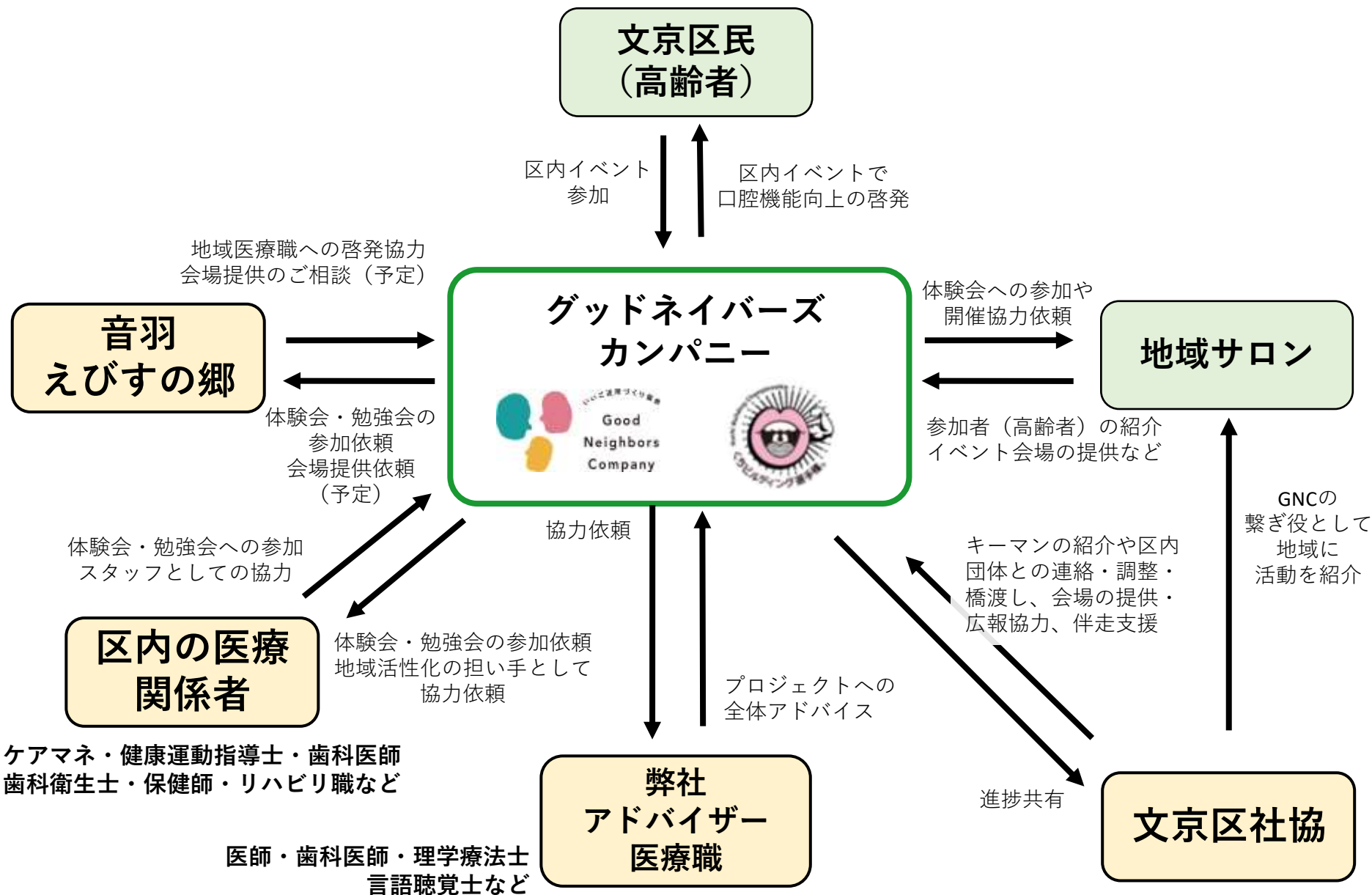
費目	決算額	積算根拠
「Bチャレ」助成金	500,000 円	地域活性化部門
	円	
	円	

支出 500,000 円

費目	決算額	積算根拠
挨拶周り	90,000 円	歯科医師会や関係各所とのオンライン/オフラインMTGおよび事前資料作成: 1500円×3時間×10回×2名
まいにち、くちビル製作費(一部)	200,000 円	アイデア開発・試作・および制作にかかる一部費用
オーラルフレイル勉強会	150,000 円	全体企画70000円・講師依頼/謝礼30000円・当日進行30000円・資料作成20000円
全体ミーティング	60,000 円	定例ミーティング・各種お打合せ資料制作にかかる費用 1500円×2時間×10回×2名
	円	
	円	
	円	
	円	

令和2年3月9日

団体名：一般社団法人グッドネイバースカンパニー



令和3年3月14日

団体名：一般社団法人グッドネイバースカンパニー

勉強会での横の連携

